

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

地域サポートセンター よいどこい
霧島市国分府中町 17 番 8 号
電話 0995-48-8877 Fax0995-48-8880

<http://www.yokaanbe.com/>

平成 30 年 11 月～

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月21日(水)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 黒岩、川村、原野、有菌、小山、岡元、市山、花田、永田、工藤、鶴田、繰、成尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	6人	12人

前回の改善計画
 個々でメモ帳を持ち歩く、送迎車にもメモを置きご本人の言葉、聞き取った内容を書き留める。書いた情報をその都度、個別記録の袋ファイルに入れ込む。そして、朝礼時にその書いてあるメモの情報を話し合い、アセスメントシートに分類し記入する。初期の方については、毎朝朝礼で様子などを話し合い共有することを続ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・メモ帳を持ち歩いていたが、書かなかった。・初めは取り組んでいた。メモに取りにくかった。
 ・家族からの情報を書くまでできなかった。・申し送り、個人の記録に直接書くようにしていた。
 ・自分でメモを持ち、出来るだけ情報を書くようにしていた。・メモを持たなかった。・タブレットになって情報を書いて、袋に入れなくなっていた。・送迎の際、得た情報をその場で書かず、「帰ってから書こう」と思っていたが、そのまま忘れてしまった事が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	5	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	8	4	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	9	2	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	3	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・声掛け、気づかいは出来ている。・家族の方とお会いした時に、日中の様子を話したりしている。
 ・来所されたときに、挨拶、自己紹介を必ずしている。・アセスメントを必ず確認してから関わっている。
 ・ご本人がしたい事に対して出来るだけ支援している。・連絡ノートを使いよいどこいでの様子を伝えて安心してもらうようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・じっくり話すことが出来なかった。・以前は朝礼の時に皆で情報を共有出来ていたが、朝礼も時間が取れなくなった。・送迎の時間を気にしてゆっくり話をする時間もなかった。・話をして情報を得ても、書き留められなかった。・情報を得ても、その場にいる職員には伝えたが、申し送りや記録に残さなかった。
 ・ご利用者に対して本当に必要な支援なのか、手探り状態で行っていた。・目の前にある事でしかできなかった。その場その場の対応になっていた。・気になったことを全体で話すことを行わなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
【ミーティングの開催】
 ◆日時：毎週金曜日14時30～(30分) ◆参加者：当日勤務者 ◆場所：リビング横居室
 ◆議題：介護リーダーの岡元、小山が職員から情報を集めて決定 ◆司会進行：岡元・小山
 ◆初期支援の方に関しては利用開始一週間前に情報を共有し、利用開始後一カ月以内で皆で情報を再共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 12月 4日 (火)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 黒岩、川村、原野、有菌、小山、岡元、永田、花田、工藤、鶴田、繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	4人	10人

前回の改善計画

1名のプランを朝礼時のミーティングで取り上げる。更に必要があればカンファレンスに提案する。先ずは一巡するまで順次行う。その後、ケアマネから提案されたご利用者についてモニタリングやプラン変更について話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 改善計画を決めて、朝礼時に初めは行えたが、しなくなった。
- 朝礼時だと勤務の都合もあり、参加が出来ない事が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	6	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	7	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	6	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	3	3	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご利用者の出来る事、出来なかったことを見ながらケアに活かしたり、声掛けを行った。
- ご利用者とのコミュニケーションを意識して、振り返りながら取り組んだ。
- 日中や夜勤のご利用者の様子を口頭で伝えたり、タブレットに入力することを心掛けていった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- プランを確認しなかった。～したいを知らない。
- 普段から～したいを意識して行動していない。
- 本人の～したいに対して、関わりの中で繋がっていくのかもしれないが、答えられない。
- プランの作成が滞っていた事もあった。→作る時間が作れない。
- プラン自体がそのまま引き継ぎで、検討が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

【～したいを知る・探す】

- ◆週1回のミーティング時に個人ファイル (ピンクファイル) を準備する。個人のプランを確認して“～したい”を知る。
- ◆朝礼時に「～したい探し担当スタッフ」を決めて、14時～15時30分の時間を使い、居室や外 (散歩やドライブ等) でその担当スタッフがご利用者と関わり、“～したい”を探していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 12月 4日 (火)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒岩、川村、原野、有菌、小山、岡元、永田、花田、工藤、鶴田、繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	10人	0人	10人

前回の改善計画

基礎的ケアについては生活記録を活用し、予後予測を立て支援を行う。
朝の挨拶や体操の時に、テーマを決めて毎回、ご本人に聞く(子供のころの夢等々)。個人では出てこない思い出も集団で話すことで想起できることがある。その会話を糸口にご本人の大事にされている‘思い’を聞き取る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・決めた時には、ご本人の“子供の頃の話”を聞いたりしていたが、今は最近の話が多くなった。
- ・ご本人の事を聞いてはいるが、その人の“思い”までは聞けなかった。聞いても掘り下げて聞くことまでできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	4	4	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	10	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	7	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	9	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	10	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・申し送りで変化を確認したりして、入浴や日頃の関わりで気づいたりした時に職員同士で確認している。
- ・気持ちや変化に注意しながら行えた。
- ・入浴介助の時等、困った時に他の職員からアドバイスを聞いたりして行うことが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・以前の暮らし方を10個以上把握出来ていない。関わりの中で聞いてもメモに取らなかった。
- ・ミーティングが出来ていなかったため、言語化出来ていなかった。
- ・変化等気づいても口頭で報告のみ、ミーティングで取り上げていなかった。
- ・情報を口頭で話ただけで、伝えたから安心と思っている自分がいた。
- ・自分の中でその人の能力を決めつけて行動している自分がいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

【その人が語る場をつくる】

◆毎朝の挨拶時にはご利用者の名前を紹介し、以前の暮らし方や出身地などその人自身が語る場をつくる。個人では出てこない思い出も集団で話すことで想起できることがある。その為にも挨拶時には出勤している職員は必ず参加し、ご利用者の隣に座る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31年 1月16日 (水)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒岩・川村・原野・有園・小山・岡元・花田・工藤・鶴田・繰・徳永・成尾・寺田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	4	7	11

前回の改善計画
天気が良い日に外にでる機会を増やし、地域の皆さんと挨拶をし、ご利用者を知ってもらい機会をつくる。その人を中心とした関係マップを朝礼等を利用してしながら作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・初めは出来ていたが、しなくなってしまった。
・外に出る機会が少なくなった。情報を集めてもマップに落せていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	6	3	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	1	5	5	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	5	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	1	9	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族からまたは本人から聞いている
・他のスタッフよりも家族と連絡とれることがあり情報収集しやすい。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の関わりが出来ていない。社会資源を把握できていない。自分の行っているケア、支援が本人にどのようなにつながっているかわからない
・散歩に出かけても地域の方に出会わない。気候の問題。暑い、寒いなど
・

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
【ご利用者の活動・参加を考える】
◆地域の行事に少人数からでもご利用者と共に参加できるように計画する。
◆庭でひなたぼっこをするなど、先ず外に出る機会をつくれるようにミーティングで話し合う。その過程で外出する意味(体力づくりや地域の方との出会い)を理解していく。
◆計画は朝礼時若しくは計画書にて情報共有し実践する。当日実践することは茶色のファイルに記載する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31年 1月 16日 (水)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒岩・川村・原野・有園・小山・岡元・花田・工藤・鶴田・繰・徳永・成尾・寺田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0	3	8	11

前回の改善計画	ご利用者自身の地域との繋がり、これまで関係性を知る為に先ずはご利用者ご本人にお聞きする。ご利用者ご本人の関係マップを朝礼やミーティングを利用して少しずつ書き足していく。(先ずは一人10個を目標にする)
前回の改善計画に対する取組み結果	・関係マップ(軒下マップ)を作れた方もいるが、作ってそのままで書き足す、他のご利用者を作ることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	2	7	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	7	3	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	5	5	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	1	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日中朝礼時やミーティングの時に相談できた ・通い、訪問、宿泊は妥当な提供が来ている ・本人のニーズに柔軟に対応できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ご利用者と過ごしているがまだまだ知らないことが多い・地域とのつながりを理解できていない ・ミーティングが出来ていない。ご家族との話がゆっくりできていない。 ・地域の資源を使っていない。わからない。自事業所のみ支援になっている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【情報収集】</p> <p>◆課題を感じているご利用者から情報収集する。申し送り簿に記入する。その情報を基にプランに繋げて実現させていく。→成功をまずは実感して他のご利用者へ広げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源・変化等を書き込んでいく。・重要であること、他の職員に知って貰いたいこと ・まずは情報を集めることから意識して行っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31年 3月 29日 (金)

6. 連携・協働

メンバー 原野・有菌・小山・徳永・繰・永田・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	0	6	4	10

前回の改善計画	<p>スタッフ自身がそれぞれの住んでいる地域行事に積極的に参加する。 児童クラブ全体の子供たちとの交流だけでなく、少人数のふれあいが出来ないかを検討する。 スタッフを知ってもらう上でも機関紙配りはみんなで順番に行く。1か月分の機関紙配りを2～3回に分けて配る。順番は勤務表の上から順番に配る。 スタッフ一人ひとりが地域行事を勤務表、リビング前の掲示板などで見て、担当の原野に確認し知ること、把握することに努める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・スクールガードをさせて頂き、子供達と触れ合う場が増えた。また、子供達から下校時、トイレを貸りに来られることもあった。 ・畑でさつま芋を作り、子供達と収穫する事が出来た。 ・機関紙が期限内に作成できず、慌てて配るかたちになり原野一人で配る事が多かった。 ・地域の行事は毎回職員を変えて、参加する事が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	2	7	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	2	8	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	1	4	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	6	2	1	10

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>・地域行事や公民館の行事、児童クラブとの交流会に参加する事が出来た。 ・自分の住んでいる自治会は参加出来ている。 ・下校中の子供達が寄って下さる、また挨拶をしてもらえるようになった。 ・回覧板やエリアトークで行事や連絡事項を確認し、得た情報は申し送りに記載している。</p>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>・施設以外の事には参加する事が出来なかった。 ・機関紙配りが任せっきりになっていた。 ・自分の地域行事に参加できていない。 ・地域行事へ積極的に参加は出来ていなかった。 ・機関誌配りを他の職員と配る月はあったが、出来なかった月の方が多かった。 ・サービス機関の会議等は、川村と有菌がしているので、任せっきりになっている。 ・地域行事を把握していない。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【地域の方との交流を図る①】</p> <p>◆地域の方を知り、また私たちを知ってもらう為にも、交流会やゴミ拾い、スクールガード等継続し関わりを持つようにする。</p> <p>◆地域行事の参加は、勤務表の順番で参加するようにする。</p> <p>◆機関紙配りを職員で配布先を区域に分けて配っていく。配った際に得た情報を申し送りに記載。地域の情報を集め皆で共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31年 3月 29日 (金)

7. 運営

メンバー 原野・有菌・小山・徳永・繰・永田・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4	2	4	10

前回の改善計画

味噌作りや羽釜を使った料理など外での炊き出しをして地域の方と話しやすい雰囲気、状況をつくる。ご意見窓口を交流スペース玄関外側に設置し、機関紙で設置場所とご意見とそれに対する回答を掲載していく。向花小学校を回ってゴミ拾いを行い会った人にしっかり挨拶を行うということは継続して取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・回数は少なかったが、外で炊き出しをしていると、地域の方へ挨拶、また立ち寄って話せる事が出来た。
- ・朝のゴミ拾いは継続できた。
- ・ご意見窓口を交流スペースに設置せず、よいどこい玄関でしか設置しなかった。改装工事もあったのもあり、意見が入っていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	1	4	5	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	4	10
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	3	4	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・朝のゴミ拾い、スクールガードを行い、その際挨拶を必ず行っている。
- ・地域の方からも声をかけて頂けるようになった。
- ・ご利用者の御家族からの要望等あった時は、その都度対応している。
- ・府中防災会議が開催する際、地域の方からお誘いを頂き、参加する事が来た。
- ・地域の方の困りごとを民生委員の方と話したり考えたりすることが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・最近ではゴミ拾いを行う事が出来ない事が増えてきた。
- ・苦情を聞くことがあっても運営に反映しているかが分からない。
- ・味噌作りをする回数が少なくなった。
- ・ご意見窓口を設置したが使用があるかわからない。
- ・地域の方と話をする機会を増やそうとしているが、事業所内で過ごす事が多く、外に出る事が少なくなった。「辞めたのかと心配した」と言われたこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

【地域の方との交流を図る②】

◆季節の料理、イベントを季節ごとに1回行い、地域の方と話す、接する場を作る。(あくまき作り、味噌作り等) それらを担当者が主になって企画する。

- ・様々な行事等にスタッフ全員が出来るだけ参加するようにする。
- ・ゴミ拾いやスクールガードの継続。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 1月29日 (火)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒岩、川村、原野、有園、小山、岡元、永田、工藤、鶴田、繰、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			9	1	10

前回の改善計画	スタッフの持っている資格について、資格習得に必要なこと、資格のできる内容等含め知る機会を作る。研修に参加したスタッフから、日々の現場で実践できる具体的な提案を1つ以上貰い、現場で取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加したが、現場に活かせなかった。 ・資格取得を目指した。 ・外部研修に参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	2		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	5		10
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	5		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加できた。 ・会社からお願いされた研修は参加した。 ・宝島の地域連絡会に参加できた。 ・LSWとして研修に参加することが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>外部研修になかなか参加できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から研修に参加することはなかった。 ・地域連絡会に参加することはなかった。 ・そもそも地域連絡会が分からない。あることも知らなかった。 ・研修に行って、また他職員発表を聞いて終わりになっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【リスクを感じる場面から学びを得る】</p> <p>◆リスクを感じる場面を写真・動画で撮り、週一回のミーティングを活用して、写真・動画を見て皆で意見を出し合い、リスクを考える場を作る。緊急性がある事は近日ミーティングを開催する場を作り話し合う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年12月26日 (水)

9. 人権・プライバシー

メンバー 川村、原野、有園、小山、岡元、市山、永田、工藤、花田、鶴田、繰、成尾、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	4		12

前回の改善計画

現在、「徳目」を使い、自分自身では日々を振り返るようにしているが、スタッフ同士で、お互いにご利用者の立場にたって日々の場面（自分たちの言葉使いなど）を振り返る機会をつくる、話し合う。
トイレのドアはノックして「入ります」など言葉を使ってから入るといふ、当たり前行動を意識し続ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・徳目を使い振り返りが出来ている。
- ・トイレに入る際、ノックと同時に入ってしまった。
- ・ご利用者の排泄の事をリビングで聞こえるように入ってしまう。
- ・ノックをして声がない事で、誰もいないと思い入ってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	7			12
②	虐待は行われていない	5	7			12
③	プライバシーが守られている		9	3		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2		10	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている		9	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束、虐待等、日常の中で行っていない。
- ・人権やプライバシー等意識して行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度が分からない。
- ・トイレに行った後に、行きたいご利用者に対して「言ったよ」と言っていたこともあった。
- ・リビング内で排泄の件を話す。→ほかのご利用者にも聞こえている。
- ・ご利用者の物の扱い→洋服が無造作に置いてある。オムツが見えるように置いてある。他の方のバックに入っている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

【自らを振り返る】

- ◆毎日「13の徳目」を使い、その日の自分を振り返ることを継続していく。
- ◆出勤した際、朝礼に参加しているA勤務かB勤務にその日の情報を、リビング横居室で自ら聞き情報を得る。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8	0	2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6	0	4
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	7	0	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	4

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・具体的に評価、検討されている。
- ・よいどこいの中の事までは分からない。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

・

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・目標がもう少し具体的で達成しやすいものが良いのではないのか？
- ・これだけの評価項目を求められていて大変。
- ・文章だけ読んでも分からない。説明してもらえると有難い。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・高齢者の方を預かっている場でなかなか時間を取って話し合う場、ミーティングは難しいのでは？大変な仕事だと思う。カンファレンスは家族も同席しているのか？文章を読んでいる、本当に出来るのだろうか？取り組む事、達成しようと望む姿勢は見えるが、もっと達成しやすい取組みにしてみてもどうか？

・

【改善計画】※後日記入

・事業所自己評価で取り組んだ9つの項目の改善計画を具体的に継続的に進めていくために、毎月の職員会議で進捗状況を確認する。進め方に問題が生じた時には計画の見直しを行う。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	4
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	4
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	0	4
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・不快な匂い等ない。
- ・玄関がいつも空いていて、とてもいいと思う。それは職員も含めとてもオープンなイメージがある。

【前回の改善計画】

- ・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・改修を行い、より過ごしやすい環境になったと思う。ただ内覧会が無かったので、もしあったら色んな方が知る機会になったと思う。
- ・畑で作業をしていると飲み物をもって来てくれたり、中で一緒にお茶を飲んだりすることがあった。
- ・ハーモニカを演奏しようと思うが、事業所の計画や予定を気にしてしまい、なかなか行く事が出来ない。いつ来ていいのか教えてもらいたい。

【今回の改善計画】

- ・日中は玄関を開放し、地域の方や学童の子どもさんたちが必要な時、寄りたい時に入りやすいようにしておく。
- ・スクールガードの学生さんや地域の方に挨拶ができるように道路に面したウッドデッキの窓を開放する時間をつくる。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	4
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	2
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	8	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4	0	6
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	10	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スクールガードやゴミ拾いをされていて、挨拶する場が増えた。挨拶だけだった職員さんも、よく話をするようになった。
- ・朝日地区の方は知っている人が多いが、その他の地域の方には知られていない。
- ・地域の行事へ積極的に参加している。

【前回の改善計画】

- ・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など)
- ・地域の方の相談日を設ける。機関紙に相談日を載せることで相談しやすくなる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・府中の方が利用していない。よいどこいを利用してみないかと声を掛けているが、身近な場所だと利用したくないとの声が多い。他の施設の車を見かける事がある。身近な方が利用してもらえると良いですね。
- ・少しずつ浸透しているが、まだまだ知らない人も多いと思う。(若い人等)
- ・機関紙をもっといろんな方に読んでもらおうと、より関心を持つ人、情報を楽しみにしている人が多くなり、認知度にも影響すると良いですね。

【改善計画】

- ・2か月一回の運営推進会議で、館長さん、自治会長さん、民生委員さん、近隣のデイサービス事業者、地域住民、行政、当事業所職員、ご利用者、ご家族、ほか、テーマにそって子供会、太鼓踊り保存会の方々と顔を合わせて互いが交流できるように働きかける。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	0	8
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	1	6
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	0	7
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	0	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩している所を見かけよく挨拶をされている。 ・職員は参加しているが、ご利用者の参加はあまりない。 ・最近散歩するところをあまり見かけなくなった。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もご利用者と地域の行事に参加させていただく。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島市警察署から困った人の緊急受入れを行っている。 ・登録者だけでなく、地域の方の気になる方へのアプローチや情報を、その人を取り巻く周りの方と共有していて、相談しやすい。
<p>【改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動、行事へご利用者と共にスタッフも参加ができるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	6
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7	0	3
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	1	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	0	4
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議で事業所の報告だけでなく、地域の課題を話せたりすることが出来、とても有難い。
- ・仕事がありなかなか参加出来ない。

【前回の改善計画】

- ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取組みが分かるようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議が定期的（2か月に1回）に開催してほしい。
- ・地域の中で検討、相談したい事があるが、個人情報があるので難しい。気になる方もいるので、後日相談させてほしい。

【改善計画】

- ・夕涼み会を運営推進会議メンバーと話し合い、地域住民も参加ができるように企画していく。
- ・ほか、当事業所だけでなく、地域の課題などが出た時に皆で話し合える機会とする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	2	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6	0	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	7	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	8	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・府中防災会議に参加して貰い、協力事業所として頼りにしている。
- ・事業所の防災訓練に参加させてもらい、積極的に行っていた。
- ・事業所の防災計画を知らない。

【前回の改善計画】

- ・事業所だけで訓練を行っていても、実際になると地域の方々のご協力を頂かなくてはならない。また、地域の方の手助けをするにも今のままでは困難である。地域の防災計画に参加する。その為には朝日地区の役などできることは行っていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・府中も防災会議を行い、防災計画書を作ったが、これからが頑張りどころ。
- ・今年度からよいどこいの有菌が女性防火クラブメンバーに加わってもらい頼もしい。

【改善計画】

- ・府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災を共に考える事業所である認識を持つ。
- ・女性防火クラブの活動へ参加し、スタッフで共有する。
- ・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加していただけるよう計画する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩尚文	法人・事業所の特徴	① 介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放（体操教室ほか） ② 管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。 ③ 霧島市まちかど介護相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。 ④ 毎朝の地域のゴミ拾い。 ⑤ スクールガードの参加 ⑥ ライフサポートプランの導入。 ⑦ 霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。 ⑧ 家族会の実施 ⑨ 加治木に同法人の事業所があり、互いに連携を図っている。 ⑩ 社会貢献活動の受け入れ ⑪ 学生の職場体験の受け入れ
事業所名	地域サポートセンターよいどこい	管理者	川村和史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	9人	人	人	人	2人	14人	人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員みんなでとり決めた事を続けていき、改善すべき点は改善をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所職員で決めた事だが、継続出来ているのか、出来ていないことに対し出来るようにするにはと途中で話し合う事を行わなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方を預かっている場なかなか時間を取って話し合う場、ミーティングは難しいのでは？大変な仕事だと思う。カンファレンスは家族も同席しているのか？文章を読んでいて、本当に出来るのだろうか？取り組む事、達成しようと望む姿勢は見えるが、もっと達成しやすい取り組みにしてみてもどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り組んだ9つの項目の改善計画を具体的に継続的に進めていくために、毎月の職員会議で進捗状況を確認する。進め方に問題が生じた時には計画の見直しを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 市来さんの畑を使い、サツマイモを植え、児童クラブと掘ることが出来、交流することが出来た。 野菜作りはあまり出来なかったが、花を植えるために畑を利用、草刈りを行った際など、ご近所の方から声をかけて下さり、その流 	<ul style="list-style-type: none"> 改修を行い、より過ごしやすい環境になったと思う。ただ内覧会が無かったので、もしあったら色んな方が知る機会になったと思う。 畑で作業をしていると飲み物をもって来てくれたり、中で一 	<ul style="list-style-type: none"> 日中は玄関を開放し、地域の方や学童の子供さんたちが必要な時、寄りたい時に入りやすいようにしておく。 スクールガードの学生さんや地域の方に挨拶ができるように道路に面したウッドデッキの窓を

		れでお茶を一緒に飲むことが出来た。	緒にお茶を飲んだりすることがあった。 ・ハーモニカを演奏しようと思うが、事業所の計画や予定を気にしてしまい、なかなか行く事が出来ない。いつ来ていいのか教えてもらいたい。	開放する時間をつくる。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など) ・地域の方の相談日を設ける。機関紙に相談日を載せることで相談しやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会の運営推進会議に沢山の地域の方が参加して下さり、一緒に企画を考える場が出来た。 ・今年度からスクールガード参加もさせて頂き、色んな場で接することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中の人を利用していない。よいどこいを利用してみないかと声を掛けているが、身近な場所だと利用したくないとの声が多い。他の施設の車を見かける事がある。身近な方が利用してもらえると良いですね。 ・少しずつ浸透しているが、まだまだ知らない人も多いと思う。(若い人等) ・機関紙をもっといろんな方に読んでもらおうと、より関心を持つ人、情報を楽しみにしている人が多くなり、認知度にも影響すると良いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月一回の運営推進会議で、館長さん、自治会長さん、民生委員さん、近隣のデイサービス事業者、地域住民、行政、当事業所職員、ご利用者、ご家族、ほか、テーマにそって子供会、太鼓踊り保存会の方々と顔を合わせて互いが交流できるように働きかける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ご利用者と地域の行事に参加させていただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も色々な行事に参加させて頂いた。ただご利用者と参加することは出来なかったが、グランドゴルフの応援へ行き、少しでも関わることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・霧島市警察署から困った人の緊急受入れを行っている。 ・登録者だけでなく、地域の方の気になる方へのアプローチや情報を、その人を取り巻く周りの方と共有していて、相談しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動、行事へご利用者と共にスタッフも参加ができるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催(2か月に一回)をすることが出来なかった。 ・決まった運営推進会議のメンバーの参加のみになってしまった。色んな方に知って貰う、意見を頂く為にも考えていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議が定期的(2か月に1回)に開催してほしい。 ・地域の中で検討、相談したい事があるが、個人情報があるので難しい。気になる方もいるので、後日相談させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会を運営推進会議メンバーと話し合い、地域住民も参加ができるように企画していく。 ・ほか、当事業所だけでなく、地域の課題などが出た時に皆で話し合える機会とする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所だけで訓練を行っていても、実際になると地域の方々のご協力を頂かなくてはならない。また、地域の方の手助けをするにも今のままでは困難である。地域の防災計画に参加する。その為には朝日地区の役などできることは行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中防災会議へ参加させて頂くことが出来た。協力事業所として登録して下さったので、よいどこいとして何が出来るのか、考えていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中も防災会議を行い、防災計画書を作ったが、これからは頑張りどころ。 ・今年度からよいどこいの有菌が女性防火クラブメンバーに加わってもらい頼もしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災を共に考える事業所である認識を持つ。 ・女性防火クラブの活動へ参加し、スタッフで共有する。 ・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加していただけるよう計画する。
----------------------------	--	---	--	---

